

# 看護学科 講 義 要 綱

科目	在宅看護の方法Ⅲ	単位	1	時間数	15	開講期	3年後期	担当者	看護師：玉木 恭子
----	----------	----	---	-----	----	-----	------	-----	-----------

講義の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅看護論実習での体験や学びをもとに、在宅療養者と家族が抱える問題を生活の問題として明確にする。</li> <li>在宅看護における援助方法について、在宅看護の特徴と照らして考えることができる。</li> <li>在宅看護の特徴を踏まえた、対象の主体性や価値観を尊重することの重要性および倫理的配慮について理解する。</li> </ul>								
講義計画		学習内容							備考
	1	在宅看護論実習の振り返りと看護の役割 ・「地域」とは ・継続看護、多職種連携など 在宅看護論確認テスト							講義・グループワーク
	2	事例別地域包括ケアシステムマップの作成 ・成人看護学（終末期や医療的ケア）、小児看護の目的・目標や望む姿などの看護学、母性看護学、精神看護学に分かれて、在説明をパワーポイントと資料 在宅看護論実習を参考にし、地域包括ケアシステムマップを作成							・事例の説明や、マップ作成
	3	領域別地域包括ケアシステムマップの作成 パワーポイント資料作成							<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで発表・質疑応答と含めて25分程度で行います。</li> <li>発表グループ以外の学生は、評価用紙を記入します</li> <li>グループワーク・発表は20点の配点とします</li> </ul>
	4	領域別地域包括ケアシステムマップの作成 パワーポイント資料作成							
	5	領域別地域包括ケアシステムマップの発表							
	6	領域別地域包括ケアシステムマップの発表							
	7	領域別地域包括ケアシステムマップの発表							
	8	筆記試験							
8	筆記試験								
8	筆記試験								
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>グループワーク参加状況と自己評価と他者評価…30点配点</li> <li>課題提出・終了試験 …70点配点</li> </ul>								
受講生への要望	<p>在宅看護論概論、在宅看護の方法Ⅰ・Ⅱの講義後の学びと実習の学び、また既習の知識や体験を統合させる科目です。実践力が身につくように丁寧に取り組んで下さい。</p> <p>在宅看護論実習での学び、そして、各領域の実習や学びを使って学習します。実習での体験を大切にしてください。</p>								

テキスト	① 書名 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 根拠がわかる 在宅看護技術 第3版 2021年度版 医療福祉総合ガイドブック 研究会	② 著者名 編集/正野逸子 NPO法人 日本医療ソーシャルワーク	③ 発行所 医学書院 メヂカルフレ 学書院 在宅での療養と介護を支える制度のかしこい使い方
	① 書名 看護師・看護学生のためのレビューブック メディア	② 著者名	③ 発行所 メディック

### 看護学科 講義要綱

科目	医療安全	単位	1	時間数	15	開講期	3年前	担当者	看護師：高田 千鶴子 (6) 玉木 恭子 (7) 感染管理認定看護師： 齋藤 敦子 (2)
----	------	----	---	-----	----	-----	-----	-----	--

講義の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故に対する理解を深め、事故防止の視点から医療安全の知識・技術を学ぶ。</li> <li>・感染対策に対する理解を深め、根拠法や現状の視点から医療安全の知識・技術を学ぶ。</li> </ul>			
講義項目	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	担当
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全と看護の責務</li> <li>・医療安全施策と医療の質の評価</li> </ul>		高田
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生のメカニズムと防止対策</li> <li>ヒューマンエラー・ Medikation エラー</li> <li>・療養上の世話における事故防止</li> </ul>	63：インシデントレポート・アクシデント発生時の速やかな報告	高田
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関における安全対策</li> <li>・医療事故後の対応</li> </ul>		高田
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染の危険を伴う病原体への暴露と防止</li> <li>院内感染の実際</li> <li>感染症法など</li> </ul>	60：感染性廃棄物の取り扱い	齋藤
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全と実際の事故、医療安全に関わる重要語句</li> <li>・医療安全の考え方</li> </ul>		玉木 5～7の授業はグループワークを含みます。
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例から医療安全を考える</li> <li>・医療事故やヒヤリハット事例での要因分析の考え方</li> <li>・KYTの考え方と実際</li> </ul>		
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KYTの実際</li> <li>・イラストKYT の実際と発表</li> </ul>		
8	筆記試験			

評価方法	<p>筆記試験…高田講師：40点／20分          玉木：60点／25分：感染管理認定看護師からの講義内容含む          ：グループワーク・発表配点10点程度を含む</p>												
受講生への要望	<p>看護師は昼夜問わず行われる医療行為の最終的な医療行為者や観察者となることが多い。そのため医療事故に対する予測力や考え方の理解を深めていきます。医療に関わる中で、必ず必要となります。積極的に参加して、自己の看護に活かして行って下さい。</p> <p>また、年々、変化する感染管理は、常に新しい情報と実際を伴います。医療の現場では常に対策を求められている現状があります。そのため感染管理に対する理解を十分に深め、医療現場の安全を守るように積極的に学んでほしい。</p>												
テキスト	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="245 577 1037 616">①書名</td> <td data-bbox="1037 577 1276 616">②著者名</td> <td data-bbox="1276 577 1441 616">③発行所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 616 1037 694">1) 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント・医療安全</td> <td data-bbox="1037 616 1276 694"></td> <td data-bbox="1276 616 1441 694"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 694 1037 728">メヂカルフレンド社</td> <td data-bbox="1037 694 1276 728"></td> <td data-bbox="1276 694 1441 728"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 728 1037 813">2) 写真でわかる看護安全管理 ディカ</td> <td data-bbox="1037 728 1276 813"></td> <td data-bbox="1276 728 1441 813">インターメ</td> </tr> </table>	①書名	②著者名	③発行所	1) 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント・医療安全			メヂカルフレンド社			2) 写真でわかる看護安全管理 ディカ		インターメ
①書名	②著者名	③発行所											
1) 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント・医療安全													
メヂカルフレンド社													
2) 写真でわかる看護安全管理 ディカ		インターメ											
参考文献	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="245 813 1037 851">①書名</td> <td data-bbox="1037 813 1276 851">②著者名</td> <td data-bbox="1276 813 1441 851">③発行所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 851 1037 929">3) ナースのための危険予知トレーニングテキスト カ出版</td> <td data-bbox="1037 851 1276 929">杉山良子</td> <td data-bbox="1276 851 1441 929">メディ</td> </tr> </table>	①書名	②著者名	③発行所	3) ナースのための危険予知トレーニングテキスト カ出版	杉山良子	メディ						
①書名	②著者名	③発行所											
3) ナースのための危険予知トレーニングテキスト カ出版	杉山良子	メディ											
	<p>・担当講師使用教科書          高田講師… 1) 2) の2冊を使用します。          玉木… 1) 2) 3) の3冊を使用します。          斎藤講師… 1) の1冊を使用します。</p>												

## 看護学科 講義要綱

科目	救急看護	単位	1	時間数	30	開講期	3年後 期	担当者	医師：望月 洋一（2） 看護師：菊池 誠（6） 植松 知子（6） 中村 卓樹（16）
----	------	----	---	-----	----	-----	----------	-----	---

講義の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急看護、災害看護の定義と特徴を学び、救急看護の役割、救急看護師、救急看護の場について理解する。</li> <li>・ 救急、災害看護にまつわる法的・倫理的側面、課題と展望について理解する。</li> <li>・ 救急患者に現れる主要病態について学び、その病態に対する看護のポイントについて理解する。</li> <li>・ 緊急時の基本的処置と看護を学ぶ。</li> </ul>								
講義計画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目・備考				担当		
	1	講義：救急医療の特徴と実際 プレホスピタル、インホスピタルケア					望月※		
	2	講義：救急看護の実際					菊池※		
	3 4	演習：救急看護の実践（BLS）	48：一次救命処置						
	5	講義：救急看護の概念・役割					中村		
	6	講義：救急看護の場と対象の理解 院内急変時における対応① 事例紹介							
	7	講義：院内急変時における対応② シナリオ作成							
	8	講義：院内急変時における対応③ 物品確認・準備							
	9	演習：院内急変時における対応の発表	47：緊急時の応援要請						
	10	講義：主要病態のメカニズムと救急患者の観察、アセスメント	グループで事前に資料を作成し発表に臨む						
	11	演習：応急処置（止血法、搬送法など）	49：止血法の実施						

	12	講義：災害とは、災害看護の定義と役割 災害のサイクルに応じた看護活動		植松 ※
	13			
	14			
	15	終了試験（筆記）		中村
評価方法	出席日数 授業態度（演習への参加姿勢を含む） 筆記試験 ※外部講師より講義を受けてレポート			
受講生に要望	救命救急のための看護から災害時の看護まで幅広く学びます。 いつ発生するかわからない緊急事態、状態の変化に対応するために必要な知識と技術を学びます。 使える技術を身につけるため、真剣に取り組みましょう。			
テキスト	① 書名 ③ 発行所 <望月・菊池・植松・中村> 系統看護学講座 別巻 医学書院 系統看護学講座 専門分野 医学書院			
	② 著者名 救急看護学 災害看護学・国際看護学			

### 看護学科 講義要綱

科目	国際情報論	単位	1	時間数	30	開講期	3年前期	担当者	看護師：田島 堅都（4） 中村 卓樹（16） 濱井 妙子（6） 湖中 真哉（4）
----	-------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---

講義目標	国際社会に目を向け、多様な価値観・異文化の理解を深め、国際社会の情勢から看護に期待される役割を考える。			
講義計画	回数	学習内容	担当者	講義の概要
	1	国際看護学とは 国際看護を学ぶ意義	中村	国際社会に目を向け、日本の抱える保健医療福祉の問題を諸外国の保健医療福祉の動向から考える
	2	世界各国の医療制度①	中村	
	3	諸外国の保健医療福祉の動向と 健康水準と医療へのアクセス 問題①	濱井	国民の健康と保健医療福祉制度の運用に影響する要因をよりよく理解するための基礎を学習し、諸外国における各国間の違いや政策が健康に及ぼす影響について学習する。
	4	諸外国の保健医療福祉の動向と 高齢化介護保障システム 問題②	濱井	
5	世界各国の医療制度② グループワーク発表	中村	3・4講目の講義およびグループワークで得た学びを発表する。	

6	在日外国人における保健医療の問題	濱井	内なる国際化として、定住化が進行している在日外国人を取り巻く環境や保健医療の問題について紹介し、外国人への看護実践や医療支援について考える。
7	国際連合と持続可能な開発目標 (SDGS)	中村	現在の国際社会が抱える問題は、世界の人々の健康とどのように関わっているのか関心を寄せ、国際的な視野を広げていく。 各回のテーマについて意識して情報収集を行い、看護はどのように協働したらいいか、何を求められているか考えていく。
8	対象者に合った看護のありかたを考える (世界の貧困)	中村	
9	HIVとスティグマ	中村	
10	国際社会とジェンダー	中村	
11	世界の紛争とその地域に暮らす人々	中村	
12	文化人類学の概要	湖中	医療についての視野を国際的に広げるために、文化人類学、医療人類学の基本を学ぶ。はじめに、文化人類学における異文化理解の研究手法であるフィールドワークについて、担当教員によるアフリカでの調査事例を題材として学ぶ。つぎに、医療現象を文化として研究する医療人類学の考え方と世界各地の事例を紹介し、保健医療の国際協力や看護の在り方について展望する。
13	医療人類学の概説 医療と文化の関係 保健医療の国際協力の展望	湖中	

	<p>14 国際協力活動の概要 国際協力機構（JICA）の概要、 国際協力について 青年海外協力隊事業について</p>	田島	<p>国際協力機構（JICA）の取り組みを通して、国際協力の在り方や相互理解の必要性について考える。JICAが派遣する青年海外協力隊の活動事例を紹介し、開発途上国が抱える課題を理解し、国際社会で看護を担う人材として、自分たちに何ができるのかについて考える。</p>
	<p>15 事例紹介 現地での活動事例の紹介 開発途上国が抱える課題 看護師として、将来自分たちにできること</p>	田島	
評価方法	出席状況・レポート及び新聞スクラップの取り組みで評価します。		
受講生への要望	<p>日頃よりテレビや新聞で取り上げられている世界のニュースに目を向けて情報収集をしておきましょう。新聞スクラップにも取り上げてください。 グループワークでは、課題のテーマについて討論を行いながら深めていきます。積極的な参加を期待しています。（中村）</p> <p>積極的に授業に参加すること。 自分のことばで考えること。（濱井）</p> <p>配布資料に書き込みながら、授業を聴いてください。（湖中）</p> <p>JICA（ジャイカ）が取り組む国際協力についてご紹介します。現地での事例を紹介しますが、皆さんだったら何ができるか、現地の課題に対して、自分事として考えながら聞いていただきたいです。ぜひ積極的な発言を期待します。（田島）</p> <p>*この講義を通して、「諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題を理解する」とことと「SDGsとは何か」「世界で起きている問題とは何か」を自ら目を向けて調べ、自己の意見を深めていくことで「専門職者として研鑽し続ける基本的能力」を身につけていきます。</p>		
テキスト	<p>① 書名 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために 江堂</p> <p>② 著者名 森淑江</p> <p>③ 発行所 南</p>		
参考文献	<p>① 書名 国民衛生の動向2021／2022 協会 医療人類学入門 1994年</p> <p>② 著者名 波平恵美子</p> <p>③ 発行所 (財)厚生統計 朝日新聞社</p>		

# 看護学科

# 講 義 要 綱

科目	看護技術の統合	単位	1	時間 数	30	開 講 期	3年 後期	担 当 者	看護師：中村 卓樹
----	---------	----	---	---------	----	-------------	----------	-------------	-----------

講 義 目 標	<p>【目的】 既習の知識・技術を統合し対象に応じた看護を実践する能力を養う。</p> <p>【目標】 目標：事例に合わせた看護の実践を考える。 ①複数患者の事例をアセスメントしケアの優先度、時間配分、その根拠を考え1日の行動計画を立案することができる。 ②時間の経過に伴う新たな患者情報への対応と行動計画を変更し、調整することができる。 ③模擬患者に看護技術の目的・根拠を考えた看護実践を実施することができる。 ④点滴静脈内注射の基礎的知識を確認し、事例に合わせた援助を考えることができる。</p>								
	講 義 計 画	回数	学習内容	看護師教育の技術項目	備考や担当者				
	1	複数患者の事例展開 ①2事例のアセスメントを行う。 ・優先順位の判断と時間配分を考慮した看護援助を考える。 ②2事例のアセスメントについてグループ内で発表・意見交換を行う。 ③グループとしてのアセスメントをまとめ完成させる。		2事例の課題提示 グループワーク グループ内での意見交換・発表  発表資料提出					
	2	複数患者の事例展開 2事例に対してグループで行動計画を立てる。 ・優先順位、根拠、患者の状況を踏まえ計画表を作成する。 ・計画の根拠を明確にして1日の目標が達成できるための計画を立てる。 ・チームリーダーへの報告、休憩時の引継ぎ内容なども考えて計画を立てる。							
	3	複数受け持ち患者の事例展開 2事例の朝の患者情報から行動計画を修正する。 ・新たに得られた情報（朝の申し送り・カルテ・患者自身より）をもとに計画を修正していく							



4	<p>複数受け持ち患者の事例展開</p> <p>①1日の経過とともに変化していく患者を捉え、対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加情報からアセスメントし必要な援助を考え、実施できるための調整を行うる。</li> </ul> <p>②発表資料の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表資料の準備</li> </ul> <p>③発表の進行と方法について（司会者・発表形式・順番・準備物品を決める）</p>		
5	成果の発表		クラス全体での発表 クラス全体での発表 事前課題提示
6	学びの共有と評価（患者アセスメント用紙・一日の計画表）		
7	新たな複数患者の事例展開		グループワーク 2事例・事前課題提示
8	事前課題の発表、意見交換 事前課題の修正		
9	事例患者に合わせた看護実践 ・事例のアセスメントと援助方法の検討		グループワーク
10	事例に合わせた看護実践	47：緊急時の 応援要請 52：フィジカル アセスメント 69：安楽な体位の 調整 70：安楽の促進・苦 痛の緩和のためのケ ア	ロールプレイ 発表
11	グループワークの発表（模擬患者への		
12	看護実践をロールプレイで表現する） 録画や記録を活用した振り返り 発表時間 各15分・振り返り20分・ 再発表 意見交換20分		
13	静脈注射における看護師の責任		講義
14	点滴静脈注射の管理	44：点滴静脈内注射 の管理 68：輸液ポンプ、シ リンジポンプの操 作・管 理	演習
15	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作		
評価方法	<p>課題の提出・内容</p> <p>グループワーク・演習への参加態度</p> <p>出席状況</p>		

<p>学生への要望</p>	<p>統合実習前には複数患者を同時に受け持つ準備として事例に対してアセスメント・行動計画を個人・グループで作成します。課題に対する事前学習を進め、自己の意見を持って参加しましょう。</p> <p>事例に合わせた看護援助（ロールプレイ）では、模擬患者に起こることを予測し、その状況に応じた援助を実施します。患者の状況に合わせて援助を考えながら実施していきましょう。</p> <p>グループワークや演習での取り組みは、振り返りや意見交換で看護援助をより良いものにすることができます。意見交換を活発に行えることを期待しています。また、グループワークや演習での学びも評価の対象となります。休むことがないように体調を整えて参加していきましょう。</p>												
<p>テキスト</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="256 546 730 584">② 書名</td> <td data-bbox="730 546 1257 584">② 著者名</td> <td data-bbox="1257 546 1441 584">③ 発行所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 584 730 622">系統看護学講座 専門分野 I</td> <td data-bbox="730 584 1257 622">基礎看護技術 I</td> <td data-bbox="1257 584 1441 622">医学書院</td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 622 730 660">系統看護学講座 専門分野 I</td> <td data-bbox="730 622 1257 660">基礎看護技術 II</td> <td data-bbox="1257 622 1441 660">医学書院</td> </tr> <tr> <td data-bbox="256 660 730 734">写真でわかる臨床看護技術① ディカ</td> <td data-bbox="730 660 1257 734">村上美好</td> <td data-bbox="1257 660 1441 734">インターメ</td> </tr> </table> <p>*その他、事例に必要な教科書・参考文献を持参する</p>	② 書名	② 著者名	③ 発行所	系統看護学講座 専門分野 I	基礎看護技術 I	医学書院	系統看護学講座 専門分野 I	基礎看護技術 II	医学書院	写真でわかる臨床看護技術① ディカ	村上美好	インターメ
② 書名	② 著者名	③ 発行所											
系統看護学講座 専門分野 I	基礎看護技術 I	医学書院											
系統看護学講座 専門分野 I	基礎看護技術 II	医学書院											
写真でわかる臨床看護技術① ディカ	村上美好	インターメ											
<p>参考文献</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="256 819 730 857">① 書名</td> <td data-bbox="730 819 1257 857">② 著者名</td> <td data-bbox="1257 819 1441 857">③ 発行所</td> </tr> </table>	① 書名	② 著者名	③ 発行所									
① 書名	② 著者名	③ 発行所											